

Ensemble MONSOLO



本田早美花とパリの仲間たち

Sylvain Durantel

Samika Honda

Julien Lazignac

Emmanuel Christien

〔アンサンブル・モンソロ〕

本田早美花（ヴァイオリン）

シルヴァン・デュランテール（ヴィオラ）

ジュリアン・ラジニアック（チェロ）

エマニュエル・クリスチャン（ピアノ）

「ピアノ四重奏演奏会」

【プログラム】

シューマン ピアノ四重奏曲 変ホ長調 作品 47
ブラームス ピアノ四重奏曲第 2 番 イ長調 作品 26

【チケット代金】 2900 円（全席自由）

【チケット取り扱い】 めぐろパーシモンホールチケットセンター窓口 / TEL : 03-5701-2904 (10 時 ~ 19 時)
モンソロ来日公演実行委員会 / Email : iys0107grace@gmail.com FAX : 03-5797-5364

2017.8/27 (日) 19 時開演〈18 時 40 分開場〉20 時半終演予定
めぐろパーシモンホール (小ホール)

東京都目黒区八雲 1-1-1 駐車台数には限りがございますので、ご来場には公共交通機関をご利用ください。

主催：モンソロ来日公演実行委員会 協賛：医療法人 鈴木医院 協力：日本国際ボランティアセンター (JVC)

* 当公演収益の一部を「国際協力 NGO 日本国際ボランティアセンター (JVC)」へ寄付させていただきます。

アンサンブル・モンソロ

Ensemble Monsolo

パリ国立高等音楽院出身のメンバー（元はコントラバスを含んだ弦楽5重奏・クインテットモンソロ）で結成。現在モンソロはアンサンブルとして形を変え、デュオ、トリオ、カルテットなど様々な編成で2人から8人までのプログラムのレパートリーを持つ。フランス、イタリア、スペインで定期的に演奏し『アートとスピリチュアリア』、『レザミ・デュ・モーツァルト』（アラン・ムニエと共演）、『フェスティヴァル・デュ・フォレ』『ラ・ムジーク・ア・ラ・ファーム』、ヴァレンティン・エルベンがリードしている『ミュージカル・オリオン』など数多くの音楽祭に招聘された。

音楽祭『ノルマンディー・フォーラム』で最優秀賞&現代音楽賞、スペディダム・スカラシップ賞、ヴェローナにて国際音楽コンクール「TIM」室内楽部門第1位受賞。2009年「プロ・カルテット」に選ばれ世界的な注目を集める。現代曲にも情熱を注ぎ数々の新曲の世界初演を行っている。J. マクマーナ、イザイカルテット、J. ムニエ、M. シュトラウス、C. デゼールに師事し、「プロ・カルテット」プログラムで、W. レヴィンとP. カッツに指導を受けた。

日本へこれまでに7度来日、東京、横浜、群馬、埼玉、大阪、高知、博多で演奏会を行った。また子供たちのためのワークショップほか、2009年にはゲストの福岡洸太郎とともに小学校へ訪問コンサートなど日本の未来の子供たちの教育にかかわるプロジェクトに参加している。2011年にフィルムジカ・トウキョウと共演した収益金を東日本大震災支援のため全額送り、2013年には石巻市仮設住宅の集会所へ訪問コンサート、スーダン・南スーダンの難民を救うコンサートを、2014年にはミャンマーの小学校建設、パレスチナ・ガザ地区の平和活動へ、2016年には熊本大震災へコンサート収益金を送るなど積極的に社会貢献活動もしている。

モンソロの初CD『オンスロー弦楽5重奏曲&ピアノ5重奏曲』は5つのDiapasonsを受けるなど高い評価を受け、2015年に日本で初リリースした『ショーンソン&マーラーピアノ4重奏曲』はレコード芸術準特選盤、毎日新聞月間特選盤、読売新聞とCDジャーナル月間推薦盤に選ばれる。

Ensemble MONSOLO

本田早美花（ヴァイオリン） Samika Honda

高知市に生まれ、英国マンチェスター、東京、ロンドンで育ち2000年よりパリ在住。パリ国立高等音楽院(CNSMP)にてジェラルド・ブーレ氏とオリヴィエ・シャルリエ氏に師事し、ヴァイオリン科、弦楽四重奏、室内楽を学び、同大学院修士課程を審査員満場一致にて首席卒業。ヴァイオリンと室内楽で国内及び国際コンクールで最高位受賞。アンサンブル・モンソロ（元クインテット・モンソロ）の創立メンバーの1人であり、数々の音楽祭（カザルス音楽祭、ドヴィール・イースター音楽祭、宮崎音楽祭ほか）に出演。五嶋みどりらと弦楽4重奏を組み演奏旅行するICEPメンバーに選ばれた。ザ・イングリッシュ・チェンバーオーケストラ、山形交響楽団、ザ・ローワーシルセシア・フィルハーモニックオーケストラほかと共演し、2012年ウィーン楽友協会でソリストデビューした。『イザイ6つの無伴奏ソナタ』（ストラド推薦盤）、『イザイのために・ロバルツ、ショーンソン、ルクー』（レコード芸術準特盤）。フランス国立ストラズブルフィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター。

シルヴァン・デュランテール（ヴィオラ） Sylvain Durantel

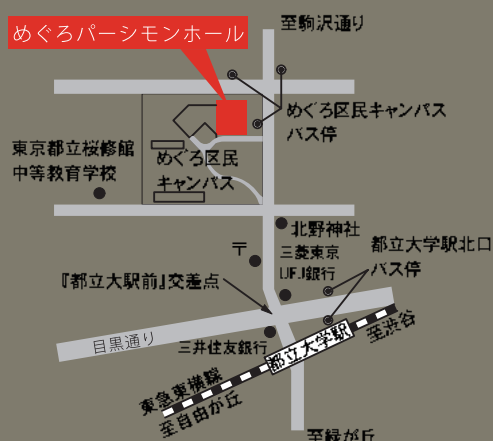
ブルーノ・バスキエに師事。パリ国立高等音楽院を審査員満場一致祝福付きの1等賞で卒業、同大学院課程修了した。また室内楽スーペリア弦楽四重奏クラスで最高賞、ならびにヴァイオリン&ヴィオラ二重奏で共に1等賞で修了。アンサンブル・モンソロの創立メンバーであり、室内楽奏者として国営ラジオ番組や多くの音楽祭に招かれ活躍するほか、ヴィオラの可能性を探求し現代音楽のプロジェクトに取り組んでいる。福岡洸太郎、ソニア・ヴィーダー＝アテルトン、ヴァンソン・ルーカス、ロマン・ルルー、フランスワ＝ジョエル・ティオリーらと共演。フランス国立ロレーヌオペラ ヴィオラ奏者。

ジュリアン・ラジニャック（チェロ） Julien Lazignac

パリ国立高等音楽院でフィリップ・ミュレーに師事、1等賞で卒業。その後ラファエル・ビドゥーと勉強を続ける。また同音楽院の室内楽スーペリアクラスでクレール・デゼール、アミ・フラメール、ヨヴァン・マルコヴィッチに師事。ルトスラヴスキー国際コンクール、サン・セバスチャン・コンテストの他数々の賞を受賞。ポーランド・ラジオ・オーケストラ、アヴィニョン・オーケストラ、ミュージック・オン・セーヌオーケストラなどとソリストとして共演。様々な音楽祭（カザルス・フェスティバル、ラ・フォール・ジョルネー音楽祭《東京》、他）でも活躍をしている。リモージュ・オーケストラのチェロ首席奏者。

エマニュエル・クリスチャン（ピアノ） Emmanuel Christien

パリ国立高等音楽院にてジャック・ルヴィエ氏に師事。ピアノ科、室内楽科、歌曲伴奏科、同大学院修士課程を首席卒業。数多くの国際コンクール受賞歴を持ち、ナント・ラ・フォル・ジョルネ、セント・デニス音楽祭、ラ・ロック・ダンテロンほか、フランス国内、インド、日本、モロッコ、イタリア、ドイツ、スイス、イギリスなどの音楽祭にリサイタルやソリストとして出演し、パリコンセルヴァトワール管、カーン管弦楽団、モルダウウィア室内オーケストラ、国立モンペリエ・ラングドック・ルシロン管弦楽団らと共演。室内楽ではオーレーン・ブラウナーら多くの音楽家と共演するほか文学、演劇など総合芸術に出演し活躍している。



チケット購入申込書

E-mail : iys0107grace@gmail.com

Fax : 03-5797-5364

チケット / 2017年8月27日(日)	ご購入枚数	枚
お名前		
ご住所	TEL FAX	

未就学児のご入場はご遠慮ください。

FAX でお申し込みの方はこの用紙をご使用ください。
お問合せ先 (080)1092-2662